

2008年2月期(第8期) 中間決算説明会資料

# 株式会社パイブドビット

2007年10月15日

株式会社 パイブドビット

TEL 03-5771-6931 FAX 03-5771-6930

当社ホームページ <http://www.pi-pe.co.jp/>



ISO 27001 / ISO (JIS Q) 27001  
ISO 27001 & JIS Q 27001



FS501308 / ISO9001:2000  
ISO 9001



IT/ISS13019 / ISO (JIS Q) 20000  
ISO 20000 & JIS Q 20000



ISO/IEC 20000-1:2005 / JIS Q 20000-1:2007 (ITMS 51309) 認証の登録範囲は、当社ASP事業における保守、サポート業務です。

## 弊社事業内容

2008年2月期（第8期）中間決算概要

2008年2月期（第8期）見通し

## 会社概要

---

商 号： 株式会社パイブドビット  
所 在 地： 東京都港区元赤坂一丁目 1 番 7 号  
設 立 年 月 日： 2 0 0 0 年 4 月 3 日  
資 本 金： 1 8 6 , 7 9 1 千円（第 8 期中間期末現在）  
決 算 期： 2 月  
従 業 員： 8 4 名（第 8 期中間期末現在）  
代 表 者： 代表取締役社長 佐谷 宣昭  
発行済株式数： 1 6 , 3 6 4 株（第 8 期中間期末現在）

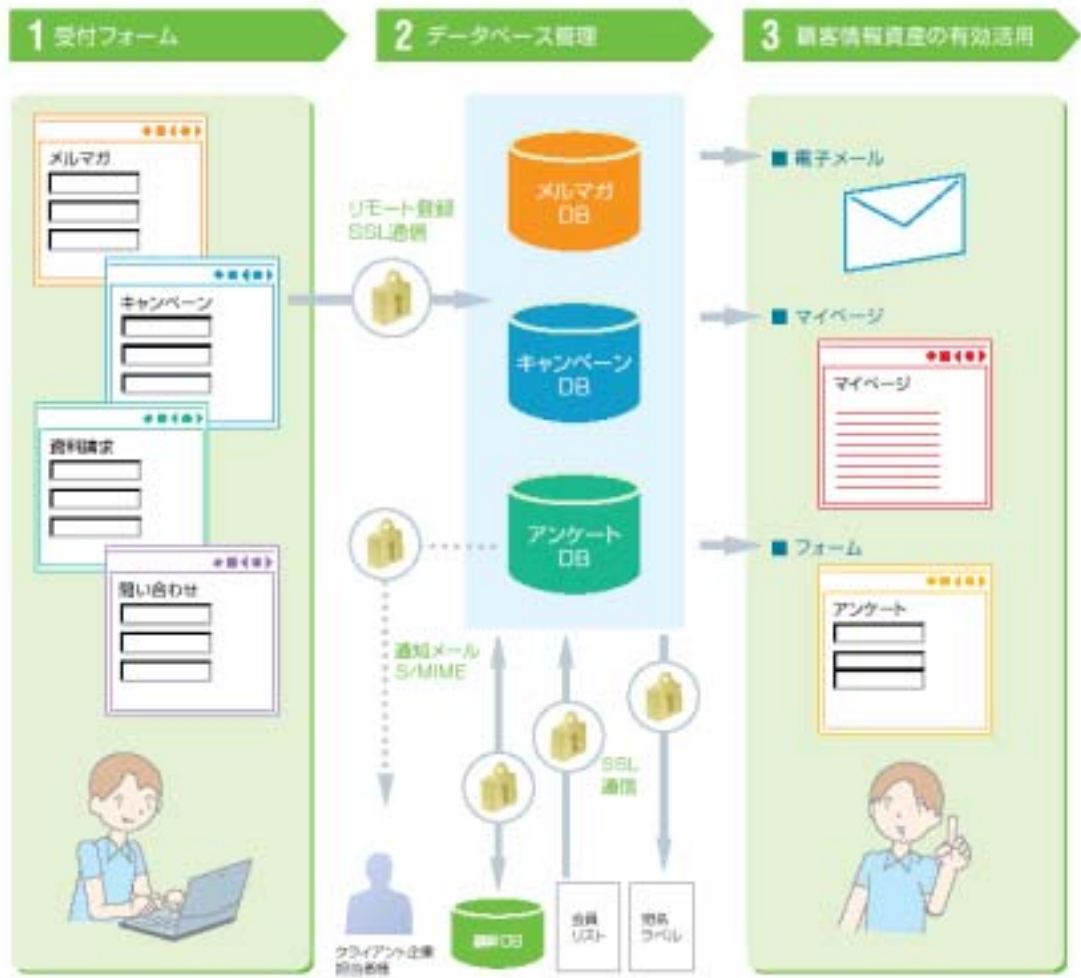
**経営理念**

**明日の豊かな  
情報生活に貢献する**

**事業コンセプト**

**「データベースの銀行」**

# サービス(スパイラル・メッセージングブレース®)の活用シーン



「データベースの銀行」とは、当社の事業が目指すべき姿です。

データベースの銀行が  
クライアントに提供する価値

01

### 情報資産管理 プラットフォーム

顧客リスト等の重要な  
情報資産を安全に管理する  
プラットフォームを提供

02

### サービスとしての ソフトウェア

顧客情報資産を活用する  
ソフトウェアをサービスとして提供  
(カスタマイズ可能)

03

### 運用ノウハウ

データベース設計や  
データフローの  
ノウハウを伝授、お手伝い

# 売上

多用途で運用

SPIRALなら

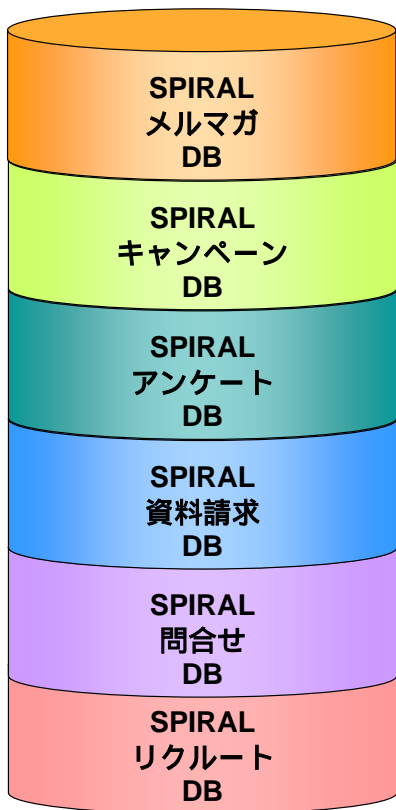
DBは20テーブルまで自由に発行できるため、様々な用途でご利用いただけます。

SPIRALなら  
ムダなく運用！

計：5,000件

メルマガ  
3,000件

アンケート  
2,000件



## ASP売上

月次売上に関しては、レコード件数が上がるほど、売上も上がります。

上記の売上が主となりますが、他にオプション・カスタマイズ売上などもございます。

レコード件数によりボリュームディスカウントされております。

項目	内容	売上金額(円)
初期売上	アカウント発行	100,000
月次売上	レコード件数 5,000件まで	25,000
	レコード件数 10,000件まで	50,000
	レコード件数 15,000件まで	75,000

# 収益構造

スパイラル・メッセージングプレースの売上は、月次基本利用料等による継続の売上と、初期費用やカスタマイズ費用等の受注に応じた単月の売上( )によって構成されています。

種別	収入	コスト（利益率）
初期	【初期売上】 アカウント開設時に課金	開設・導入に係る労務費（連動）
継続	【月次基本利用料】 レコード件数に応じて課金	システム維持管理費（緩やかな連動） サポートデスク労務費（緩やかな連動） 研究開発費用（ユーザー数と非連動）
	【月次オプション利用料】 オプション機能の利用有無により課金	設置に係る労務費（ユーザー数と非連動） 研究開発費用（ユーザー数と非連動）
スポット	【代行売上】 追加設定や配信代行時に課金	設定・代行業務に係る労務費（連動）
	【カスタマイズ売上】 カスタマイズプログラム提供時に課金	プログラム作成に係る労務費（連動）

単月の売上：初期売上 + スポット売上



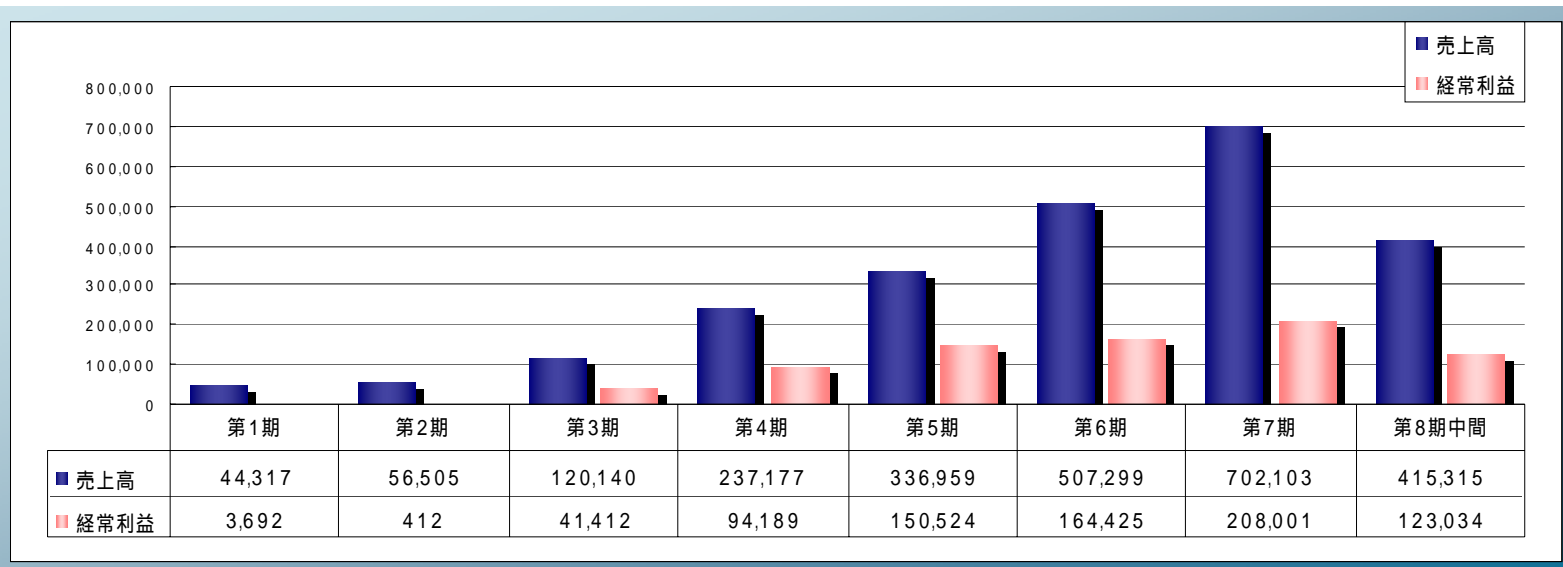
2008年2月期（第8期）  
中間決算概要

## 業績推移

### 売上高・経常利益の推移

(単位:千円)

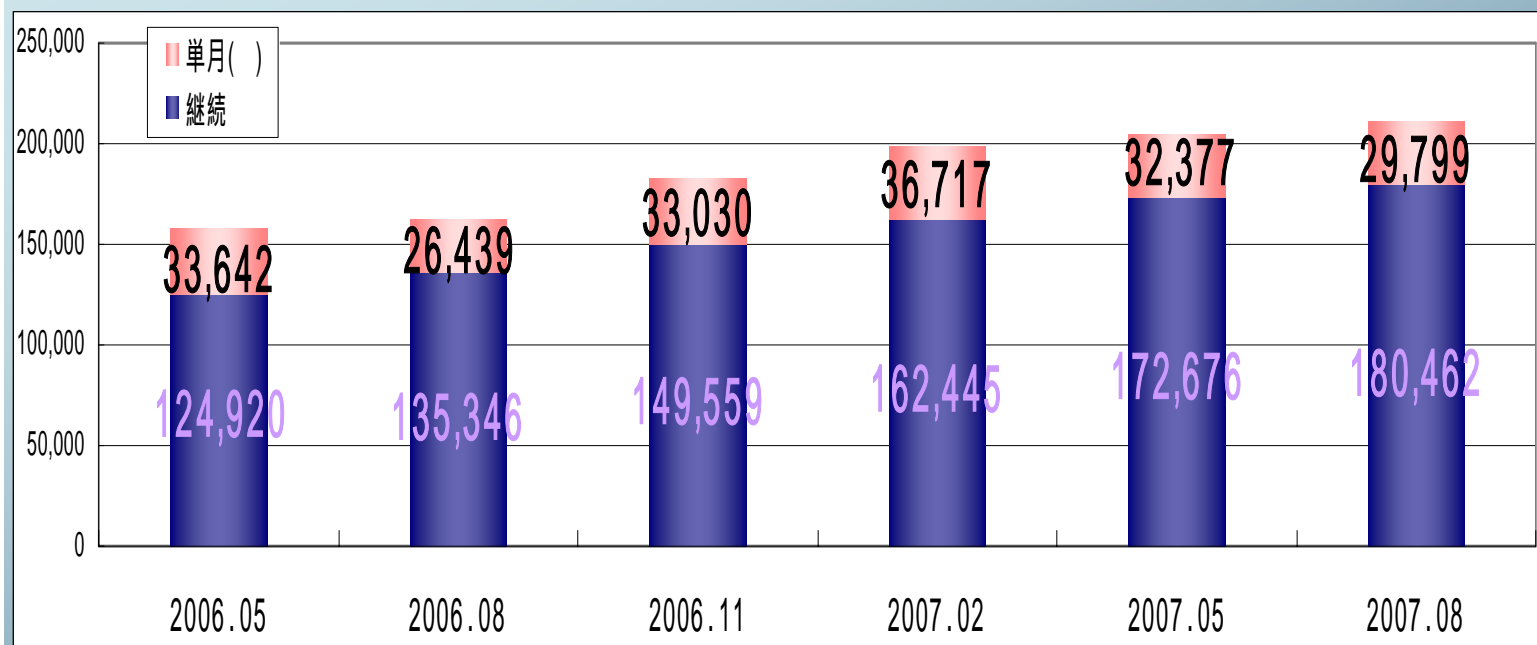
	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期 中間
売上高	44,317	56,505	120,140	237,177	336,959	507,299	702,103	415,315
経常利益	3,692	412	41,412	94,189	150,524	164,425	208,001	123,034
当期純利益	2,561	193	25,128	55,429	87,957	97,243	124,771	71,900



## 売上種別推移

### 売上種別実績推移（四半期ベース）

（単位：千円）



継続売上の対前四半期増減（単位：千円）

単月の売上：初期売上 + スポット売上

2006.05	2006.08	2006.11	2007.02	2007.05	2007.08
13,712	10,427	14,212	12,886	10,231	7,786

上記記載数値については監査法人の監査を受けておりません。

# 貸借対照表概要

(単位:千円)

決算期		第7期末	第8期中間	増減	第7期中間	
資産の部	流動資産	現金・預金	548,889	575,284	26,395	301,524
		売掛金	113,466	117,354	3,888	94,040
		その他	13,042	14,545	1,503	13,143
		合計	675,398	707,184	31,786	408,707
	固定資産	有形固定資産	20,526	37,439	16,913	15,491
		無形固定資産	4,248	3,728	520	4,767
		投資その他資産	31,859	31,571	288	12,855
		合計	56,633	72,739	16,106	33,114
資産合計		732,032	779,923	47,891	441,822	
負債の部	流動負債	123,488	98,181	25,307	85,912	
	固定負債	14,377	13,993	384	17,860	
	負債合計	137,866	112,175	25,691	103,772	
純資産の部	資本金	186,791	186,791	0	90,191	
	資本剰余金	96,791	96,791	0	191	
	利益剰余金	310,584	382,484	71,900	247,667	
	新株予約権	0	1,682	1,682	0	
	純資産合計	594,166	667,748	73,582	338,049	
負債・純資産の合計		732,032	779,923	47,891	441,822	

## Point1: 流動資産

売上高の増加による  
売掛金及び現金・預金  
の増加

## Point2: 固定資産

オフィス増床・改装による  
有形固定資産の増加

## Point3: 流動負債

法人税及び消費税等  
の支払による流動負債  
の減少

## Point4: 資本

中間純利益の計上による  
利益剰余金の増加

## キャッシュ・フロー概要

(単位:千円)

	第7期中間	第8期中間	増減	第7期末
営業活動による キャッシュフロー	53,912	47,570	6,342	141,906
投資活動による キャッシュ・フロー	28,507	21,175	49,683	61,642
財務活動による キャッシュ・フロー	0	0	0	186,236
現金及び現金 同等物の増加額	82,420	26,394	56,025	389,785
現金及び現金 同等物の期首残高	159,104	548,889	389,785	159,104
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	241,524	575,284	333,760	548,889

Point1: 営業活動によるキャッシュ・フロー  
 増加要因: 税引前中間純利益  
 減少要因: 法人税等の支払

Point2: 投資活動によるキャッシュ・フロー  
 増加要因: オフィス改装による固定資産の  
 取得

## 損益計算書概要

(単位:千円)

	第7期中間	第8期中間	前年同期比	第7期末
売上高	320,349	415,315	129.6%	702,103
製品製造原価	59,284	59,561	100.5%	127,467
うち、労務費	(49,644)	(47,334)	95.4%	(107,407)
売上総利益	261,065	355,753	136.3%	574,635
販売費・一般管理費	158,377	233,491	147.4%	349,496
うち、人件費	(103,122)	(138,248)	134.1%	(214,554)
営業利益	102,687	122,262	119.1%	225,138
営業外収益	605	772	127.6%	873
営業外費用				
上場関連費	0	0		11,046
株式交付費	0	0		6,963
経常利益	103,293	123,034	119.1%	208,001
特別利益	3,000	0	0.0%	3,000
税引前当期純利益	106,293	123,034	115.7%	211,001
法人税等	44,438	51,134	115.1%	86,230
中間(当期)純利益	61,854	71,900	116.2%	124,771

### Point1:売上高

有効アカウント数の増加による、継続  
売上の増加。

### Point2:販売・一般管理費

オフィス増床による、賃借料の増  
加及び採用による人件費の増加

## 主要経費実績

(単位:千円)

	第7期中間	第8期中間	前年 同期比
人件費	152,766	185,583	121.5%
維持管理費	5,100	7,870	154.3%
採用費	11,229	14,972	133.3%
研究開発費	9,200	10,702	116.3%
平均従業員数	60.5名	78.0名	128.9%

### Point 1: 人件費

新卒社員22名の採用により、増加。

### Point 2: 維持管理費

ユーザー数の増加に伴うシステムの増設による増加。

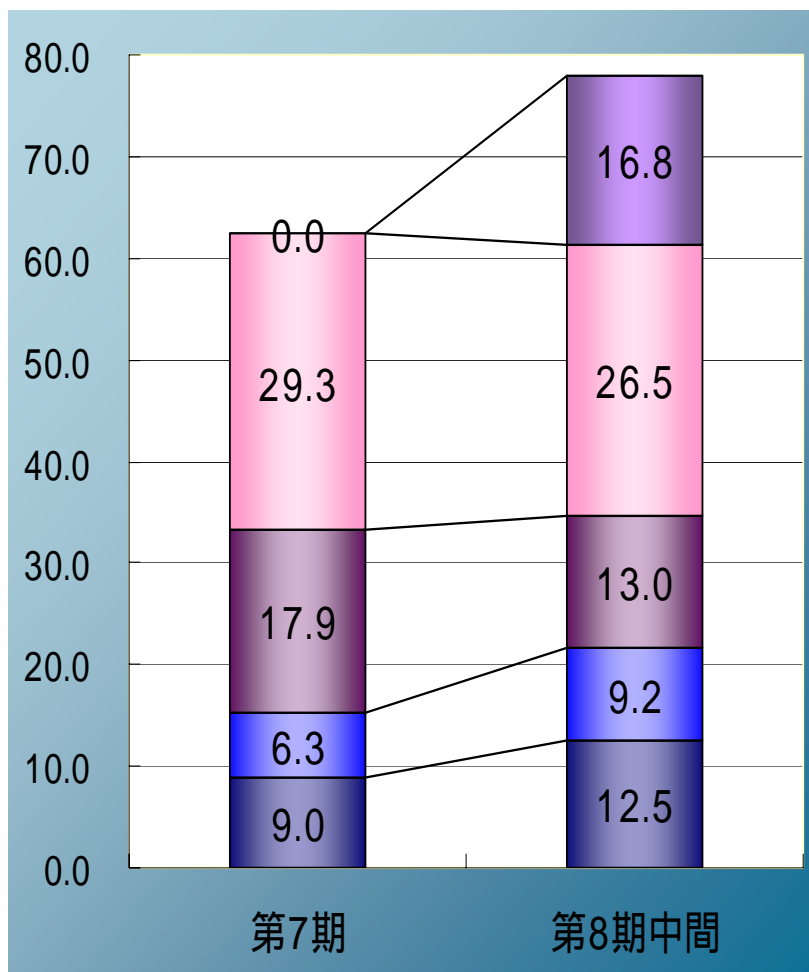
### Point 3: 採用費

積極的な採用活動による増加。

### Point 4: 研究開発費

研究開発人員の増強による増加。

## 平均人員配置概要



平均人員 = 12(6)ヶ月の各部従業員総数 ÷ 12(6)



(単位:人)

	第7期	第8期中間	増減
07新卒	0.0	16.8	16.8
営業系	29.3	26.5	-2.8
支援系	17.9	13.0	-4.9
技術系	6.3	9.2	2.9
管理系	9.0	12.5	3.5
合計	62.5	78.0	15.5

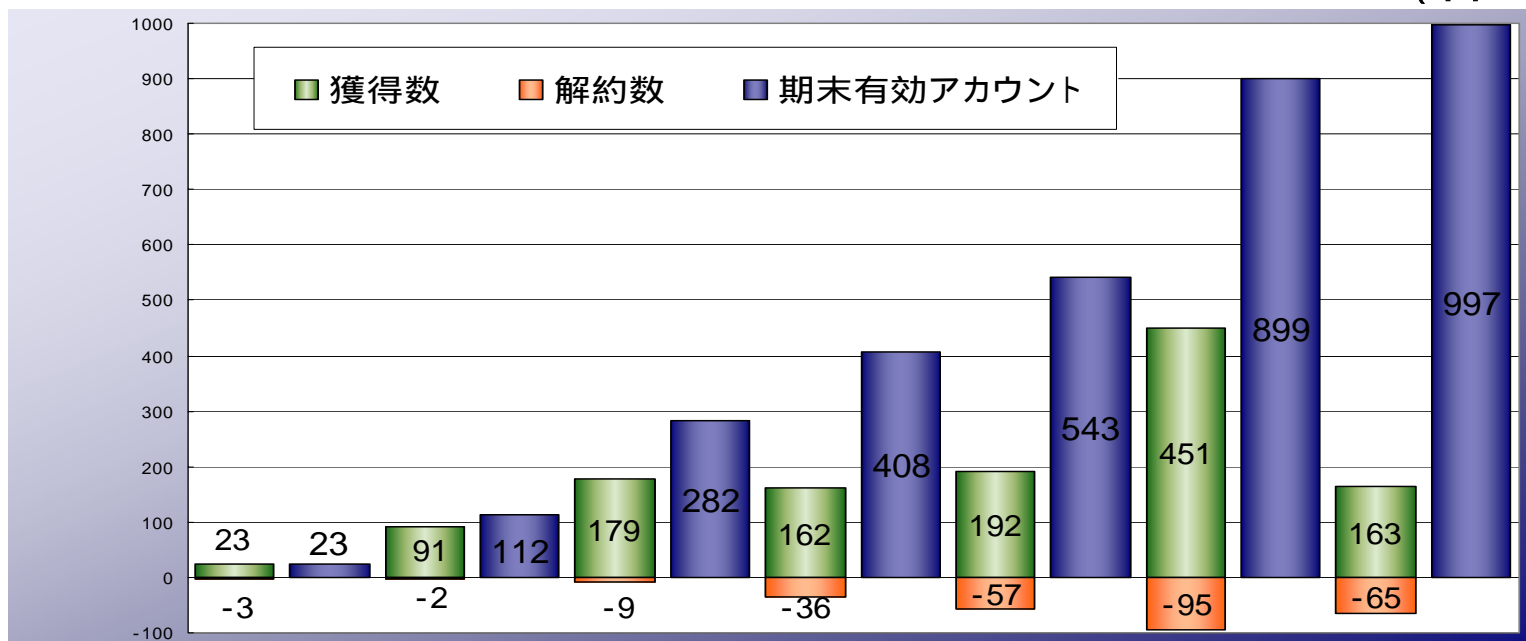
**Point1** : 07新卒22名は9月より  
営業系に14名、支援系に7名、技術系に1名、  
配属となっております。

**Point2** : 採用及び新人教育強化の為に管  
理系人員が増加しました。



## 有効アカウント数と解約数の推移（第1期～第8期中間）

(単位:件)

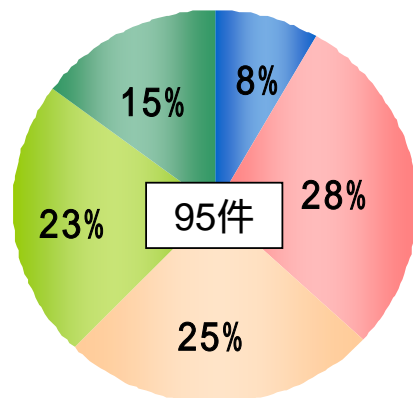


	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期中間
解約数	3	2	9	36	57	95	65
獲得数	23	91	179	162	192	451	163
期末有効アカウント数	23	112	282	408	543	899	997
解約率	11.5%	8.7%	8.0%	12.8%	14.0%	17.5%	7.2%

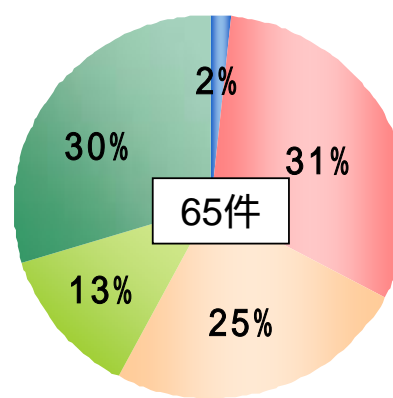
解約率 = 解約数 ÷ 前期末有効アカウント数

# 解約状況

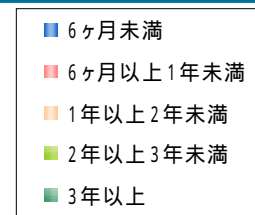
## 1. 解約割合



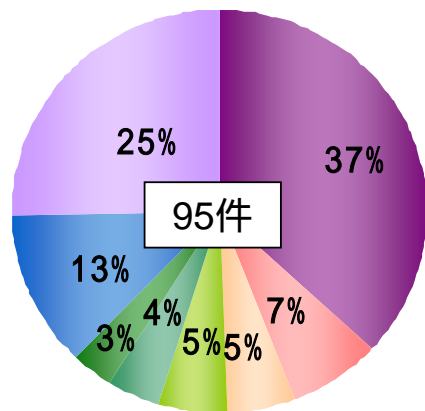
第7期



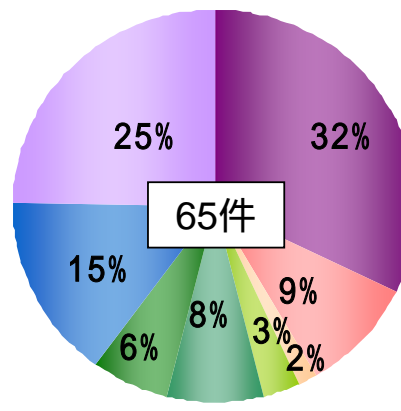
第8期中間



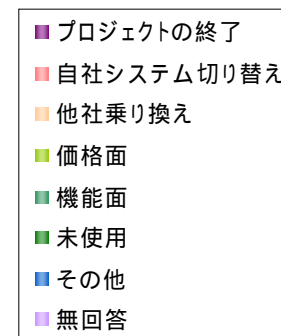
## 2. 解約理由



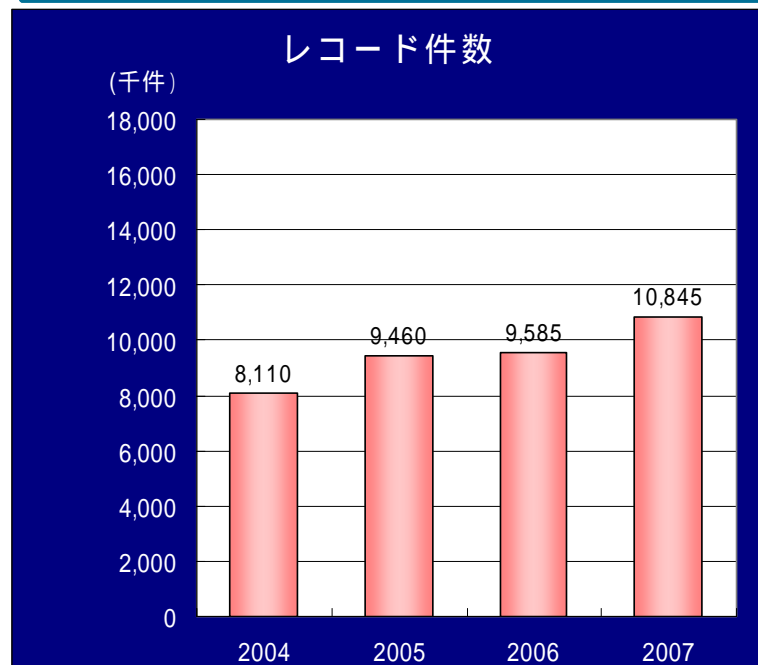
第7期



第8期中間



## 継続ユーザーのレコード件数と月額売上の推移



**3年間で約2,735千件 (33.7%) 増加**

(単位:千件)

2004年8月	2005年8月	2006年8月	2007年8月
8,110	9,460	9,585	10,845

**3年間で約3,058千円 (24.4%) 増加**

(単位:千円)

2004年8月	2005年8月	2006年8月	2007年8月
12,514	14,120	14,271	15,572

このグラフは、2007年8月末時点で3年以上使用している200アカウントを対象としております。

日割対象案件の場合、月中の最大レコード数をその月のレコード数として計算しております。

## 新株予約権の状況

内訳	新株予約権の数(単位:個)			
	第7期末	第8期中間期 付与数( 1)	第8期中間期 減少数( 2)	第8期中間 期末現在
平成17年5月 新株予約権	94	0	4	90
平成18年5月 新株予約権	84	0	4	80
平成19年6月 新株予約権	0	64	0	64
合計	178	64	8	234

### Point

- 1.平成19年6月14日に取締役2名及び従業員15名に対して  
新株予約権64株を付与しております。
- 2.新株予約権の「第8期中間期減少数」は退職等による放棄を  
反映しております。

2008年2月期（第8期）  
見通し

## 今期の見通し

(単位:百万円)

	2008年2月 中間期見通し	2008年2月 中間期実績	対中間期 見通し比 (%)	2008年2月 通期見通し	通期 進捗率 (%)
売上高	415	415	100.0%	900	46.1%
経常利益	95	123	129.5%	250	49.2%
当期(中間)純利益	56	71	126.8%	148	48.0%

### 【上期総括】

1. 採用及び新人教育等の積極的な組織づくりを行った。
2. 教育等への戦力割当により新規開拓の進捗が鈍ったもののレコード件数の増加等で売上をカバーした。
3. 当初想定していた経費及び研究開発費の一部未消化及び下期への期ずれがあった。

### 【下期見通し】

1. 現場配属した新入社員による新規開拓の進捗の改善を目指す。
2. サービスのバージョンアップや新サービス開発を進める。
3. 既存顧客営業を強化し、解約阻止・アップセルの推進を目指す。

# データベースの銀行の成長の事由

付加価値の向上

- ・レコード件数の増加
- ・利用シーンの拡充

有効アカウントの増加

- ・新規開拓

情報資産の種類増加

- ・新サービスの開発

## 免責事項

---

- 本資料は、株式会社パイブドビッツ（以下、弊社。）の現状を理解していただく為に作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、本資料の発表時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されております。本資料の内容は、今後の経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。